

これがオススメ！ 読み聞かせ本

高学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

戦争をテーマにした本は、子どもたちになかなか読んでもらえません。そこで、平和を学ぶ時間におすすめの絵本『馬を洗って…』を紹介しましょう。

少し前ですが、この本を六年生に読み聞かせしました。すると途中で、子どもたちのすすり泣く声を聞くという経験をしました。戦争を知らない子どもたちが、戦争で命を失う恐ろしさ、平和の尊さを感じた瞬間でした。

読み聞かせの前に、戦時中に食べていた食料クイズをしたことがあります。子どもたちはサツマイモのつるやヒマワリの種を食べたことを知り、驚きと興味を示しました。調べ学習につながりそうです。

今も争いが続いている国や地域があることは、心が痛みます。どんな問題が起こっているのか



馬を洗って…

加藤 多一・文
池田 良二・版画
(童心社)

関心をもってほしくて、ノーベル平和賞最年少受賞者、マララ・ユスフザイ氏の自伝『わたしはマララ』を並行読書としてブックトークで紹介しました。本を読んだ子どもは、貧困や差別のない社会が、平和につながることを理解しました。

最近『馬を洗って…』の読み聞かせをしたところ、戦争の悲しさ以外の感想がありました。生まれてきた姿が違うだけで、不吉な馬と差別する「噂」への怒りです。物語に登場する人物が自殺した原因は、戦争で起きた暴力による「いじめ」だということです。物語を読み、命を大切にすることにについて、子どもたちが広く深く考えはじめたのです。

池田良二氏の銅版画も、読み聞かせ後、子どもたちとぜひゆっくり観てほしいです。